



寒さの中にも、少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになりました。子ども達が園で過ごす時間も残りわずかです。入園当初、小さかった子ども達も立派に成長し、今では他のクラスの子も達を助けてくれる素敵なお兄さん、お姉さんになりました。最近では、小学校へ行くことを楽しみにする姿が見られ、そんな姿に嬉しさを感じつつも、卒園してしまうことへの寂しさが大きくなってきている私達です。

残り1カ月ではありますが、子ども達が最後まで元気に楽しく園生活を送り、沢山の思い出と共に卒園の日を迎えられるようにしていきたいと思えます。



## 色彩を楽しんだ作品展

今年の作品展では、一年を通して練習してきた書道をはじめ、紙粘土でのペン立て作り、そして塩を使ったソルトペインティングに挑戦しました。書道では、「はる」の文字に挑戦！曲線の部分に苦戦しながらも、筆先を上手く使い、とても堂々とした立派な仕上がりになりました。ペン立てでは、それぞれイメージを膨らませ、絵の具を使い自分の理想のペン立てに仕上げました。完成すると嬉しそうに、『鉛筆たくさん入れるんだ！』と使うことを楽しみにする姿が見られていました。

ソルトペインティングでは、塩という普段使わない素材に興味津々の子ども達。じんわりと絵の具の色が広がる様子に『わあ～！！おもしろい♪』と楽しそうな姿が見られました。また、沢山の色を使うことで絵の具の色が混ざり、変化が起こることに感動した子ども達です。

パッと広がり混ざり合う絵の具のように子ども達の表情が変わる姿がなんともいえず可愛かったです。



## もうすぐりっぱな一年生！！



進級してからあっという間に一年が過ぎてしまいました。今年はコロナの流行もあり、制限されることも多く不安な日もありましたが、コロナに負けることなくお友達と一緒に一つ一つ思い出を増やしながら毎日を元気に過ごしてきました。

春には、お米から発芽させた苗を、みんなで手を真っ黒にしながら苗植えをし、『お米できるかなあ？』と楽しみにしながら、毎日水やりを頑張りました。秋には自分たちの手で収穫をしたお米を食べ、食べ物大切さや美味しさをみんなで分かち合いました。

夏には、ミニトマトの収穫や園庭での水遊びを楽しみました。毎日、園庭に出ると、赤くなったミニトマトを見つけ手のひらいっぱい収穫し、『ほら、見て！！』と嬉しそうに笑う子ども達の姿がとても印象的でした。

秋には、運動会がありました。鼓笛隊や棒体操、跳び箱などなかなか思うようにできず、失敗や挫折もありましたが、友達を思いやり、お互いに励まし合いながらみんなで心をついにし、目標に向かって頑張る姿にとっても感動しました。

冬には、クリスマス会やなわとび会がありました。クリスマス会では初めての手話やメロディオン、劇に挑戦しました。毎日空いた時間を見つけるとは、教え合いながら自主練に励み、本番では素晴らしい演技や心のこもった歌を発表してくれました。なわとび会では、毎日の練習の成果が表れ、1000回を超える大記録ができました。また、なわとび会が終わった後には、『みんなすごかったね！』『頑張ったね！！』とクラスのみんなでお互いを称え合う姿が見られ、そんなお互いを思い合える子ども達の姿に胸がキュンとしました。

二年前には、まだまだ自己中心的でケンカをすることも多く言い合う姿があったり、なかなか自分の気持ちを伝えることが出来ずに我慢してしまい涙する姿もあった子ども達。しかし、年長になり、一緒に過ごす中で、友達との絆を深め、お互いを思いやり声をかけ合いながら努力し、助けあうことができる素敵な子ども達に成長していたことにとっても驚きました。そしてこんな素晴らしい子ども達と二年間というたくさんの時間を一緒に過ごさせていただけたこと本当に感謝しています。

これも保護者の皆様のご支援・ご協力があってこそです。至らぬ点が多かったかと思いますが、いつも笑顔で子ども達を送り出していただきありがとうございました。

子ども達と一緒に過ごした日々は私達にとって素晴らしい宝物です。

二年間本当にありがとうございました。